

# 東京湾海況情報 18-08

東京湾水質調査結果（平成18年11月分）

平成18年11月10日  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
 E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp)

## 東京湾水質調査結果(平成18年11月分)

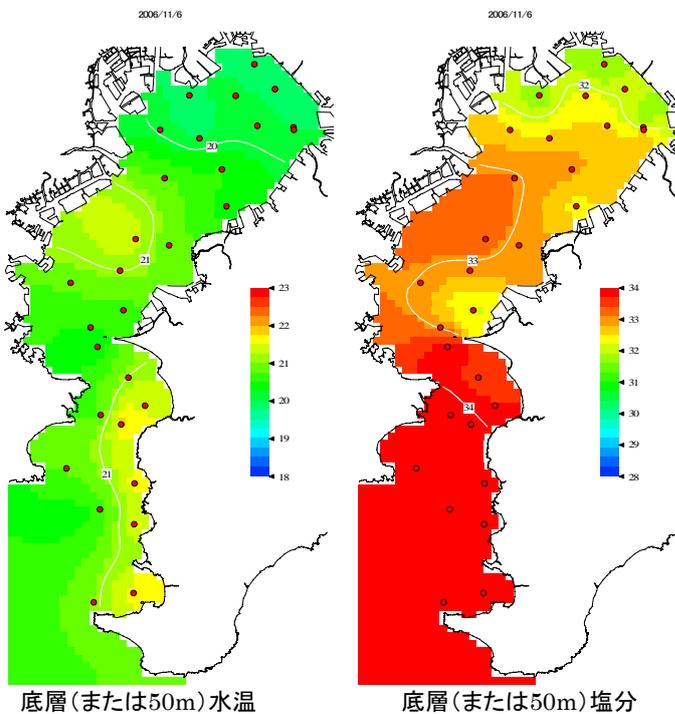
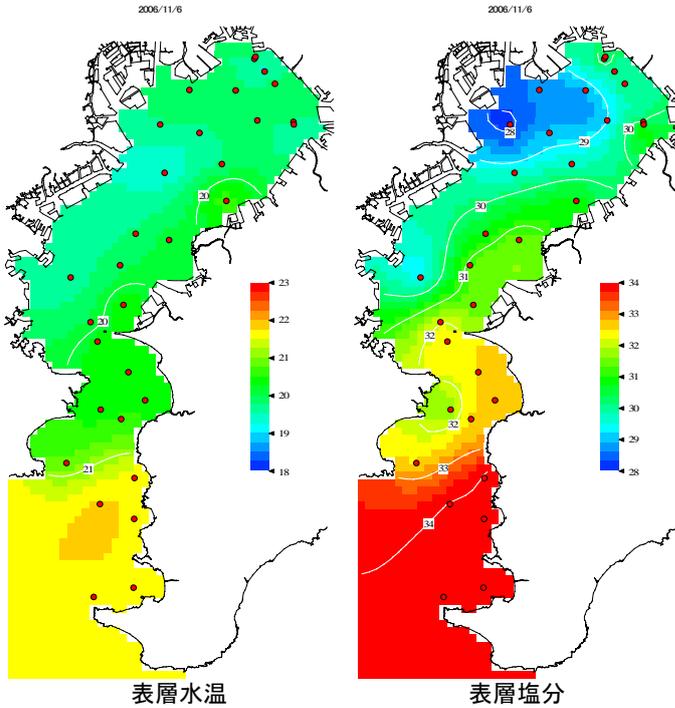


図1 東京湾の水温・塩分分布

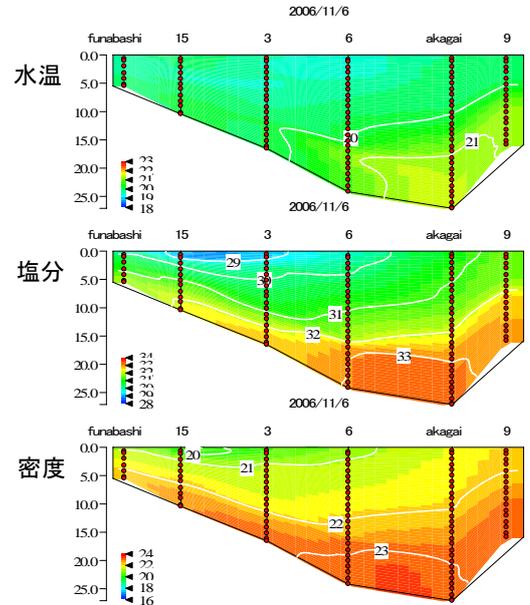


図2 内湾の鉛直分布

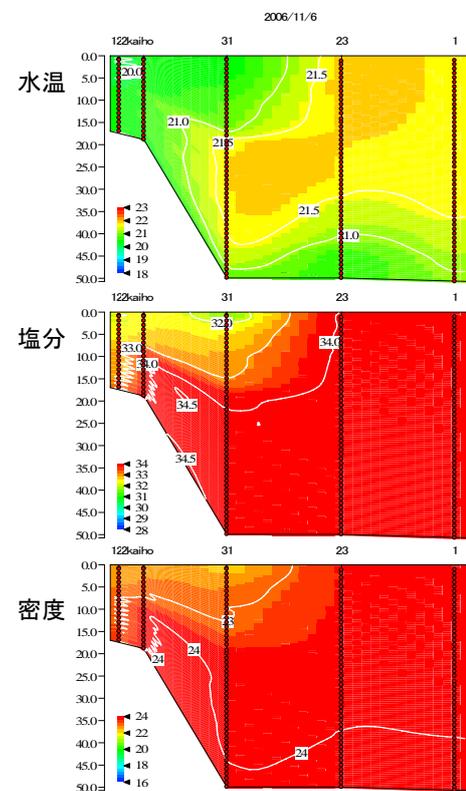


図3 内房海域の鉛直分布

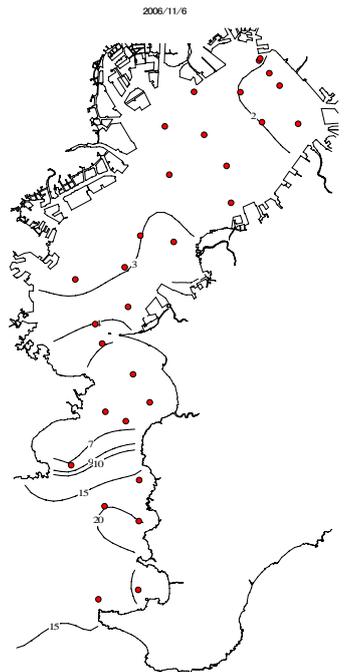


図4 透明度の分布 (単位: m)

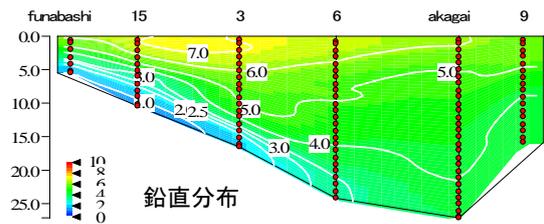
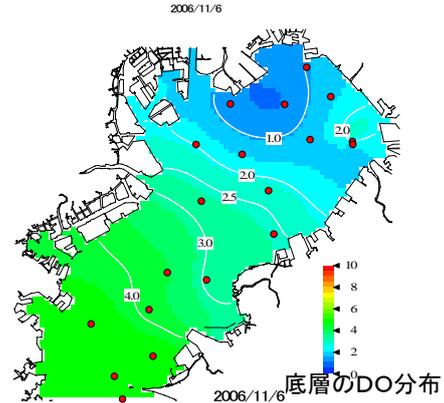
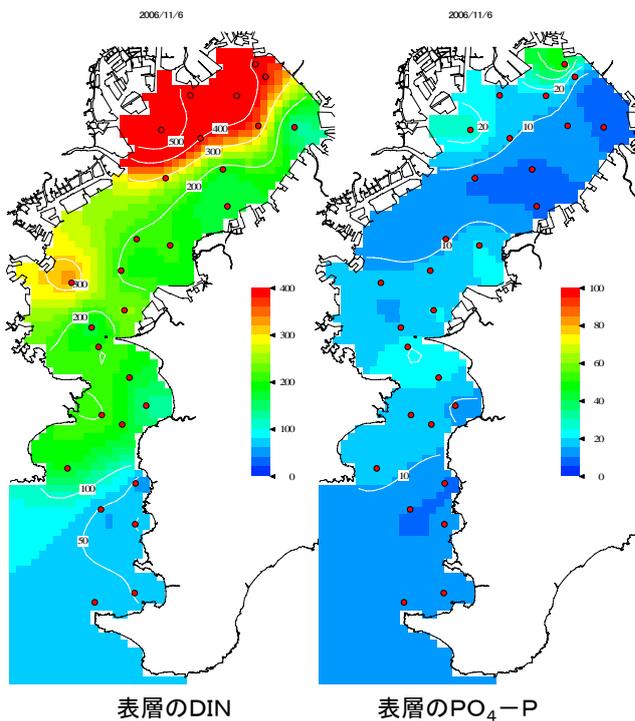
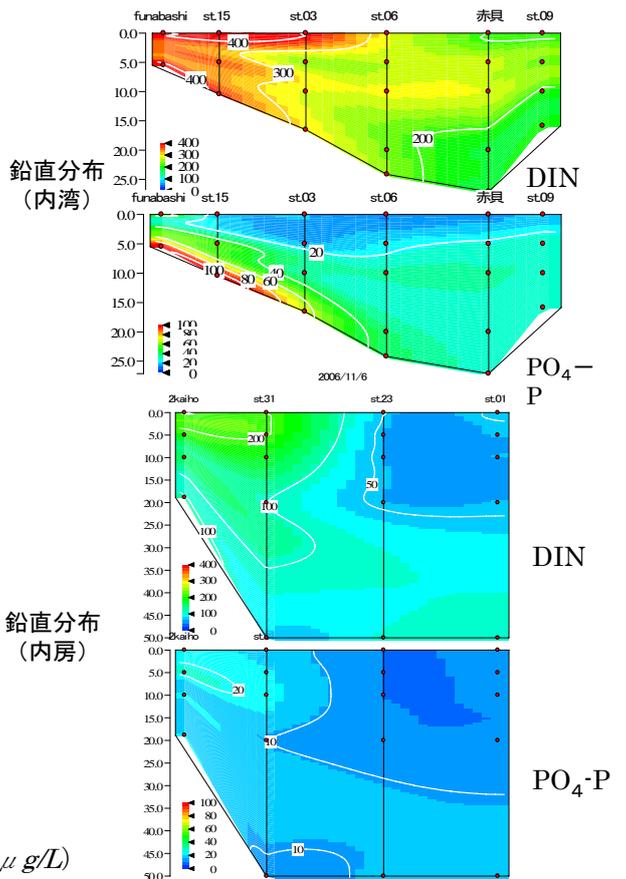


図5 内湾のDO分布 (単位: ml/L)



表層のDIN

表層のPO<sub>4</sub>-P



鉛直分布 (内湾)

鉛直分布 (内房)

図6 栄養塩の分布 (単位:  $\mu$ g/L)

水温・塩分(図1~3、表1)

表層の水温は、内湾は20°C前後 (平年より1°Cほど高め)、内房は20~22°C (平年より1°Cほど高め) でした。表層の塩分は、内湾は28~32 (内湾の北部は平年よりやや低め)、内房は31~34 (平年並み) でした。

南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温21~22°Cでほぼ同様、塩分28~34でした。内房は水温20~22°C、塩分32~34.5でした。なお、館山湾から保田の沿岸は、沖合水の差し込みにより底層の水温が平年より2°Cほど高くなっていました。

### 赤潮の状況(図4、表1)

内湾の北部は赤潮気味でした。

主なプランクトンは9月頃から引き続き珪藻のニッチア (*Nitzschia pungens*) ですが、その他に珪藻のキートケロス (*Chaetoceros* sp.)が多かったです。また、内湾の北部には渦鞭毛藻のプロロセントラム (*Prorocentrum* sp.) も見られました。

透明度は、内湾 2~4m, 内房 5~21mでした。表層のクロロフィルa量は内湾は 5~10  $\mu\text{g/L}$  程度、内房は4  $\mu\text{g/L}$  以下でした。

千葉県の赤潮の目安(内湾海域)は

「海色：オリーブ色~褐色, 溶存酸素の飽和度：150%以上, 透明度：1.5m 以下,  
pH：8.5 以上, クロロフィルa量：50  $\mu\text{g/L}$  以上」としています。

### 貧酸素水塊の状況(図5、表1)

内湾の北部では、貧酸素水塊の分布域が広がっていました。11月7日頃に強い南寄りの風が吹きました。貧酸素水塊の分布が変わると思われるので、注意が必要です。

なお、水産総合研究センターでは溶存酸素量 2.5ml/L (飽和度50%) 以下を貧酸素水としています。

### 栄養塩類(図6、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、内湾200~600, 内房40~200  $\mu\text{g/L}$  でした。内湾南部は、平年より200~300  $\mu\text{g/L}$ , 内房北部は平年より 50~100  $\mu\text{g/L}$  それぞれ少なかったです。

表層のリン酸態リン( $\text{PO}_4\text{-P}$ )は、船橋以外は5~20  $\mu\text{g/L}$  でした。平年と比較すると内湾は10~30  $\mu\text{g/L}$  低め、内房はほぼ平年並みでした。

### 黒潮の動き(図7)

11月6日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は八丈島の東側で蛇行している模様でした。

内房の沿岸には沖合水の差し込みが見られました。海況の変化に注意して下さい。

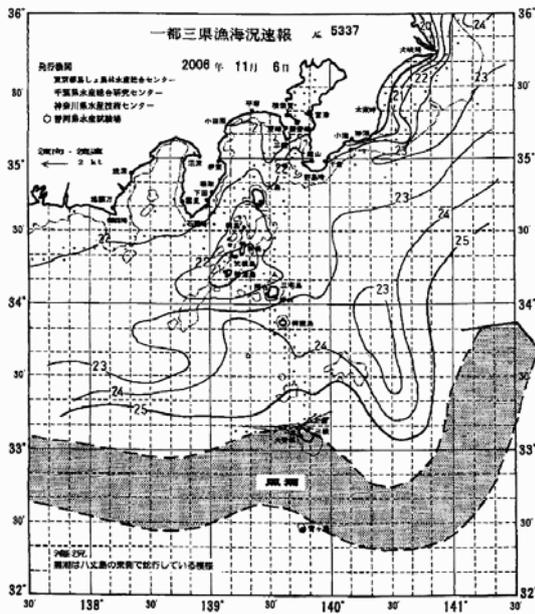


表1 主な調査点の水質調査結果(表層)

調査年月日：平成18年11月6日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ( $\mu\text{g/L}$ )	リン酸 態リン ( $\mu\text{g/L}$ )	アンモニア 態窒素 ( $\mu\text{g/L}$ )	クロロフィ ルa量 ( $\mu\text{g/L}$ )
船橋	2.1 (3.1)	19.4 (18.4)	30.14 (31.17)	8.4 (8.1)	1.0 (3.9)	388 (492)	46 (63)	30 (135)	11.8
st.15	2.0 (4.2)	19.7 (18.4)	28.63 (30.73)	8.6 (8.2)	0.5 (3.0)	460 (523)	15 (35)	11 (87)	5.9
st.3	2.3 (5.0)	19.5 (18.1)	28.77 (30.49)	8.6 (8.2)	1.5 (2.7)	400 (601)	11 (30)	13 (135)	8.3
st.6	2.8 (5.6)	19.2 (18.2)	29.36 (31.00)	8.6 (8.2)	2.8 (3.1)	281 (535)	5 (30)	17 (133)	7.8
st.9	3.0 (6.7)	19.8 (18.3)	31.29 (30.93)	8.4 (8.2)	3.9 (4.0)	190 (508)	12 (30)	12 (74)	6.3
盤洲Cブイ	2.0 (4.9)	20.5 (19.4)	30.70 (31.60)	8.6 (8.2)	2.6 (3.2)	150 (414)	5 (34)	11 (60)	11.0
st.8 (盤洲Aブイ)	3.2 (5.4)	19.9 (18.6)	31.32 (30.57)	8.4 (8.2)	2.9 (3.5)	193 (421)	16 (32)	13 (58)	
富津ベタ	3.8 (6.0)	20.2 (18.8)	31.31 (31.30)	8.3 (8.1)	4.5 (4.0)	236 (435)	16 (29)	25 (35)	6.1
第2海ほ下	5.0 (6.0)	20.2 (19.0)	32.36 (32.45)	8.1 (8.2)		199 (279)	20 (22)	27 (40)	2.1
st.31	6.0 (8.5)	20.2 (19.2)	31.61 (32.62)	8.2 (8.2)		201 (267)	13 (20)	15 (35)	3.9
st.23	20.0 (13.6)	21.7 (21.0)	34.05 (33.98)	8.1 (8.3)		46 (92)	5 (9)	16 (19)	0.4
st.1	16.0 (15.8)	21.6 (21.3)	34.07 (34.09)	8.1 (8.3)		59 (62)	7 (6)	20 (20)	0.5
st.10 (下洲沖)	6.0 (7.5)	20.3 (19.3)	32.43 (32.80)	8.1 (8.2)		174 (229)	17 (21)	25 (34)	
st.12 (浅沖)	6.0 (6.9)	20.3 (19.2)	32.65 (32.89)	8.2 (8.2)		120 (222)	9 (18)	17 (30)	
st.22 (保田沖)	16.0 (11.7)	21.7 (20.8)	34.10 (33.91)	8.1 (8.3)		42 (86)	5 (9)	13 (16)	
st.24 (富浦沖)	20.0 (13.6)	21.5 (21.0)	34.04 (34.05)	8.1 (8.3)		52 (72)	6 (7)	16 (18)	
st.26 (館山湾内)	21.0 (12.9)	21.6 (21.2)	34.05 (34.08)	8.1 (8.3)		49 (63)	6 (7)	15 (18)	

( ) : 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去6年分)  
※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

## スナメリ?に遭遇

11月6日に、浦安沖で背びれが無いスナメリらしき個体2尾に遭遇しました。

スナメリ?との遭遇は、2005年2月以来です。

資料：東京湾水質調査

(11/6 内湾：わかふさ 内房：ふさみ丸)

海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト)

一都三県漁海況速報

東京湾口海況図